

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2024年 2月 26日

事業所名

モデラート

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	0	訓練室とプレイルームに分け、目的に応じた活動が行えるように確保している。	
	2	職員の配置数は適切である	7	0	利用人数と状況に合わせた職員配置となっている。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7	0	子どもの特性に合わせて、簡単で分かりやすい言葉で説明をしたり、絵カードを用いて視覚的に伝わるようにしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7	0	支援内容に合わせて空間づくりを行い、毎日療育終了後には掃除と消毒を徹底し定例会を実施し、利用者の状況や支援について振り返りをし、情報共有をして保護者へアンケートを実施し、その内容を基に業務改善に努めている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7	0		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	0	7		今後、会報やホームページにて公開していく。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	7		今後、外部評価を実施し改善に努めていく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	0	部内外の研修に参加し、資質向上に努めている。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7	0	保護者から聞き取りを行い、一人一人に合わせた支援計画を作成している。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	0	アセスメントシートを活用している。	
	12	児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定さ	5	2	児童発達支援ガイドラインに則り、一人一人の特性や状況を把握し、支援内容を設定している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7	0	支援計画の目標達成を目指すため、スモールステップの支援を心がけている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	固定化した内容にならないよう全職員で話し合い、特性に応じた活動プログラムを決めている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	季節の製作や一人一人の課題に合わせた活動を行っている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	7	0	一対一で関わる時間を設け、それぞれに合った計画が作成できるように工夫している	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	朝礼にて、活動プログラムの共有や、その日の利用児童に応じた役割分担を行う	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	0	療育終了後、その日の利用児童の様子を周知し、次回利用日の支援に活かせるよう努めている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	毎日、一人一人の記録を残し、支援内容の確認を行っている	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7	0	6ヶ月に一度、モニタリングを実施している。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0	児童発達支援管理責任者や担任等、適任者が出席している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7	0	関係機関からの療育を必要としているお子様の紹介に応じたり、保育所等との連携を図っている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	7	対象者なし	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	7	対象者なし	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	0	必要に応じて情報共有できる体制を整えている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	0	7		今後、情報共有できる体制を整えていく。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	0	必要に応じて研修や、情報交換を行っている。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた
28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	7	コロナ対策として未実施	
29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	7	コロナ対策として未実施	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	7	0	毎日の支援内容のお伝えと、送迎時に保護者と情報共有をしている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	0	7		定期的に面談などの場を設け、保護者に対する支援が行えるように努めている。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	契約時に説明を行っている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7	0	6ヶ月に一度のモニタリングの際に、保護者と支援内容について確認し、同意をいただいている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	送迎時や、面談の際に保護者から相談があれば、その都度対応している。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援	0	7	コロナ対策として未実施	
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	申し入れがあった場合は、電話・メール・面談など様々な場面において適宜対応している。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0	月に1回「モテファトだより」を発行し、行事予定や日々の様子を発信している	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7	0	鍵付き書庫に保管している。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	声かけだけでなく、絵カードを用いたり視覚的にも分かるように工夫している。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	7	コロナ対策として未実施	
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	0	策定したマニュアルは全職員で周知し、保護者にも緊急時避難先をお伝えしている。訓練は定期的実施しその様子を会報で報告もしている
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	マニュアルに沿った訓練を年に数回実施している。	
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7	0	保護者記入の健康カード、服薬カードを作成し、情報共有できるようにしている	
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	0	利用開始時に保護者と取り決めをし、全職員に周知している	
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	0	報告書を作成し、再発防止に努めている	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	研修に参加したり、ミーティングにて情報共有している。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7	0	該当者のみ説明を行っている。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた
--	--------	----	-----	---------	----------------

○この「児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。